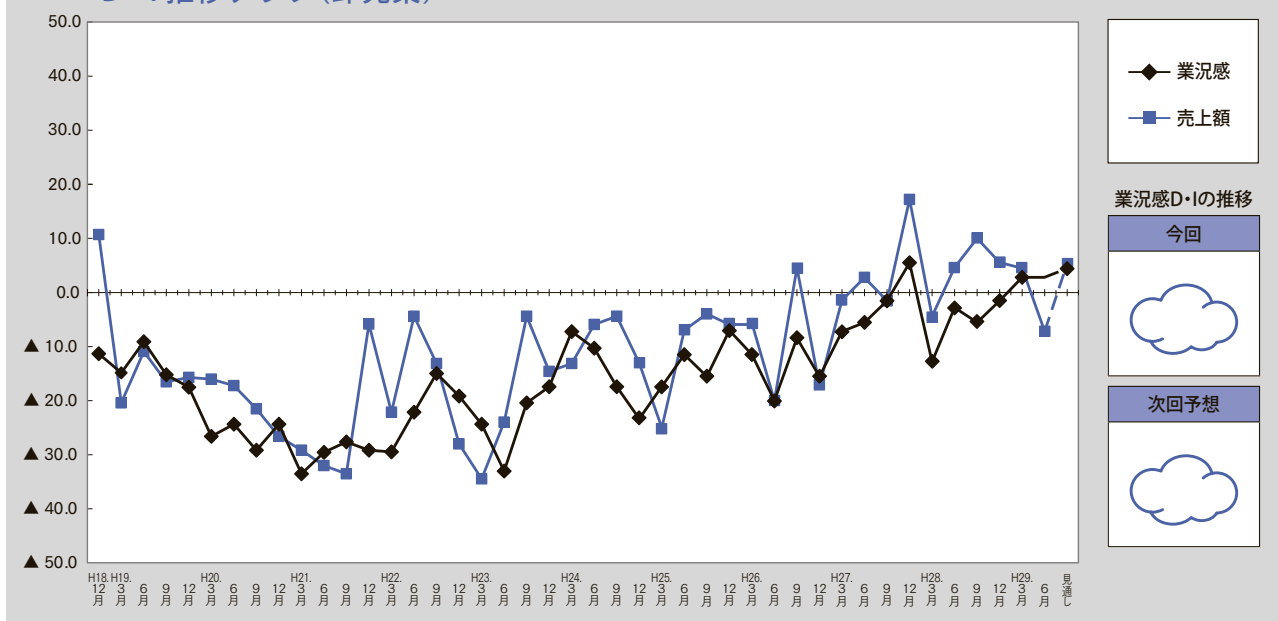


卸売業

Wholesale trade

業況感プラスを維持

D・I 推移グラフ (卸売業)



1 今期 (平成29年4 - 6月期)

卸売業の業況感は、今期2.9（前期2.9）となり、前期と変わらず。前期5期ぶりにプラスとなったD・I値を維持した。

しかし、売上額が前期比で11.4ポイント、収益も前期比で7.1ポイント悪化するなど、項目別には悪化が見られる。製造業と同様に、業況感としては悪くないものの、依然として続いている人手不足、仕入価格の上昇が売上額や収益に悪影響を与えているものと思われる。

2 来期の予想 (平成29年7 - 9月期)

来期は、業況感が今期から1.4ポイント上昇し、プラスを維持できる見込みとなっている。雇用、設備については依然として強い不足感が予想される。売上、収益、仕入価格は改善が期待されている。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

| | H28.6月期 | H28.9月期 | H28.12月期 | H29.3月期 | H29.6月期 | 来期見込み |
|------|---------|---------|----------|---------|---------|--------|
| 業況感 | ▲ 2.9 | ▲ 5.7 | ▲ 1.4 | 2.9 | 2.9 | 4.3 |
| 売上額 | 4.3 | 10.0 | 5.7 | 4.3 | ▲ 7.1 | 5.7 |
| 収益 | 2.9 | 0.0 | ▲ 2.9 | 1.4 | ▲ 5.7 | ▲ 2.9 |
| 販売価格 | 2.9 | 11.4 | 1.4 | 4.3 | 7.1 | 4.3 |
| 仕入価格 | ▲ 4.3 | ▲ 11.4 | ▲ 13.0 | ▲ 11.4 | ▲ 20.0 | ▲ 8.6 |
| 在庫 | 4.3 | ▲ 4.3 | ▲ 1.4 | 0.0 | ▲ 25.7 | ▲ 18.6 |
| 資金繰り | ▲ 17.1 | ▲ 11.4 | ▲ 15.7 | ▲ 11.4 | ▲ 11.4 | ▲ 11.4 |
| 人手 | 14.3 | 11.4 | 10.0 | 7.1 | 17.1 | 10.0 |
| 設備状況 | 10.0 | 7.2 | 7.1 | 10.0 | 2.9 | 7.1 |

業況調査メモ

わが国の流通業の年間販売額に占める卸売業の割合は約75%に上る。販売額は小売業の3倍だが、卸売業の話題が新聞、テレビ等で取り上げられることは少なく、消費者の関心も小売業に比べて低い。そんな中、南九州最大の物流拠点でもある鹿児島市卸本町で、建材や食品、医薬品などさまざまな商材の卸売企業が集まる鹿児島総合卸商業団地協同組合は、今年11月に創立50周年を迎える。当初83社でスタートした組合員は現在、72社。生産者と密接につながる卸売業だけに、県経済の活性化に果たす役割は大きい。昨年4月に青年部が発足し、新たな発想による取り組みが期待される。